

第1回岩見沢市障がい福祉計画策定委員会 要旨

日時：平成29年6月8日（木）10時～11時45分

場所：岩見沢市役所3階第1会議室

【出席者】

策定委員： 三宅委員、佐々木委員、板井田委員、佐藤（恵）委員、岩崎委員、齋藤委員、堀委員、橘委員、湯浅委員、江田委員、内海委員、畑委員、北市委員、森口委員、川瀬委員、福士委員、佐藤（昌）委員、梅田委員、嵯峨委員（計19人）

事務局： 石崎健康福祉部長、出口健康福祉推進担当次長、瀬野福祉課長、青山福祉課主幹、山田障がい者福祉グループ担当主査、長谷川障がい者福祉グループ担当主任、山田囑託員（計7人）

手話通訳者： 佐々木囑託員 林手話通訳者（計2人）

<委嘱状交付>

市長より委嘱状を交付

<市長挨拶>

障がいのある人に対する岩見沢市の考え方等について

<障がい福祉計画の策定について P1～P2>

第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画の策定目的について、事務局より説明

<委員長、副委員長選出>

互選により、委員長に堀委員、副委員長に佐藤（恵）委員を選出

<協議の進め方について P3>

<計画の概要について P4～P7>

堀委員長の進行により、計画策定までの協議の進め方、関係法令、計画の概要について事務局より説明を行い、その後意見交換、質疑応答

主な内容は次のとおり

○高齢障がい者の介護保険への移行について

・65歳以上の高齢障がい者は、原則として介護保険制度に移行するが、岩見沢市ではどのような移行の仕方をしているか。

→介護保険サービスは保険料で賄う保険制度で、障がい福祉サービスは税金で賄う制度。保険制度が優先されるため、原則は介護保険サービスに移行するが、視覚障がい者の外出時における支援である同行援護など障がい福祉特有のサー

ビスは、引き続き障がい福祉サービスで提供が可能。制度改正により介護保険サービス移行で、利用者負担額が発生する分は、障がい福祉の制度で償還払いされる見込み。

○精神科病院退院後の居住の確保について

- ・精神科病院に入院している方の中には、退院後、地域で生活できる方が多くいるが、住まいの確保ができないという課題がある。既存空き家や市営住宅などをグループホーム化するなど、検討してほしい。

○相談支援体制について

- ・当事者やその家族が、日常生活上の困りごとや、障がい者手帳を取得する手続きなどを相談したくても、相談する場所がわからない。JR岩見沢駅舎内の相談室も最近閉鎖された。今後どこに相談したらよいか。

→よろず相談的な相談業務は、市役所福祉課窓口で受けている。障がい福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画を作成する事業所は市内に12か所あり、連携している。今後の相談支援体制のあり方は、内部検討している。

○外出手段の確保について

- ・障がい者は、自動車を自ら運転できない方が多く、公共交通機関、特に路線バスは重要になる。バス路線見直しについては丁寧な説明が必要。

- ・外出支援のサービス（移動支援、同行援護など）を知らない方がいて、余暇等の外出を諦めている方もいる。ホームページや広報など周知を検討してほしい。

→バス路線変更は、市の企画室で行っている。パブリックコメントや意見交換会を実施し、ご意見をいただきながら路線の見直し等々進めている。近いうちに公共交通機関のあり方等々について、市の考え方が示される見込み。

○日常生活用具の給付について

- ・申請してから、給付券がなかなか届かないことがあり、自分で使っている用具を切らしてしまうことがあった。問い合わせをしたら、その日のうちに対応した。

→事務処理を改善するなど、速やかな対応をしたい。

○オストメイト施設について

- ・オストメイトトイレが市内のどこに整備されているかがわかりにくい。

→公共施設における設置箇所は、障がい者手帳等を取得した方や希望者に配布する「障がい者の手引き」に記載している。ただ、民間のお店等まで把握できていない。オストメイトトイレの状況把握や皆さまへの周知につきましては、今後の課題として皆さまと一緒に考えていきたい。

○障がい者に対する地域の理解について

- ・障がい福祉サービスを必要とする方に、サービスが行き届いていないことが実態としてある。計画作成後、どの程度浸透しているかを点検したり、障がい者に寄り添う姿勢が必要。

- ・計画を単にホームページに載せればいいのではなくて、いかに周知していくかの工夫も必要。

→障がいのある方に関するサービスの他にも、差別解消法や虐待防止法など数字だけでは見えにくい部分がある。市では、障がいのある方に対し適切な対応や

配慮をしようと、職員対応要領を策定した。これを、民間企業の方にも参考に
していただき、障がいのある方とない方が共に暮らしていける共生社会の考え
方を広めていきたい。

○アンケート調査について

- ・前回3年前に実施したアンケート結果が漠然としていた。もっと具体的なことを聞きたい。例えば、この3年間で良くなった点や悪くなった点はあるのかと聞いてはどうか？また、色々なところで行政と市民が協力してできることがあると思うので、障がい者が福祉制度外で何を望んでいるかがわかれば、ボランティアによる手助けの参考になる。アンケートの内容をできるだけ当事者の方が具体的に答えられるように工夫をしてほしい。

<その他>

次回開催日についての事務連絡